

PZ-3 (three)

中期経営3カ年計画(2005年度～2007年度) 進捗状況

2007年5月17日

 **日本ゼオン株式会社**

代表取締役社長 古河 直純

◆ 2006年度のまとめ

● 連結経常利益

7期連続の増益、さらに5期連続の過去最高益更新

● 連結営業利益

6期連続の増益、さらに5期連続の過去最高益更新

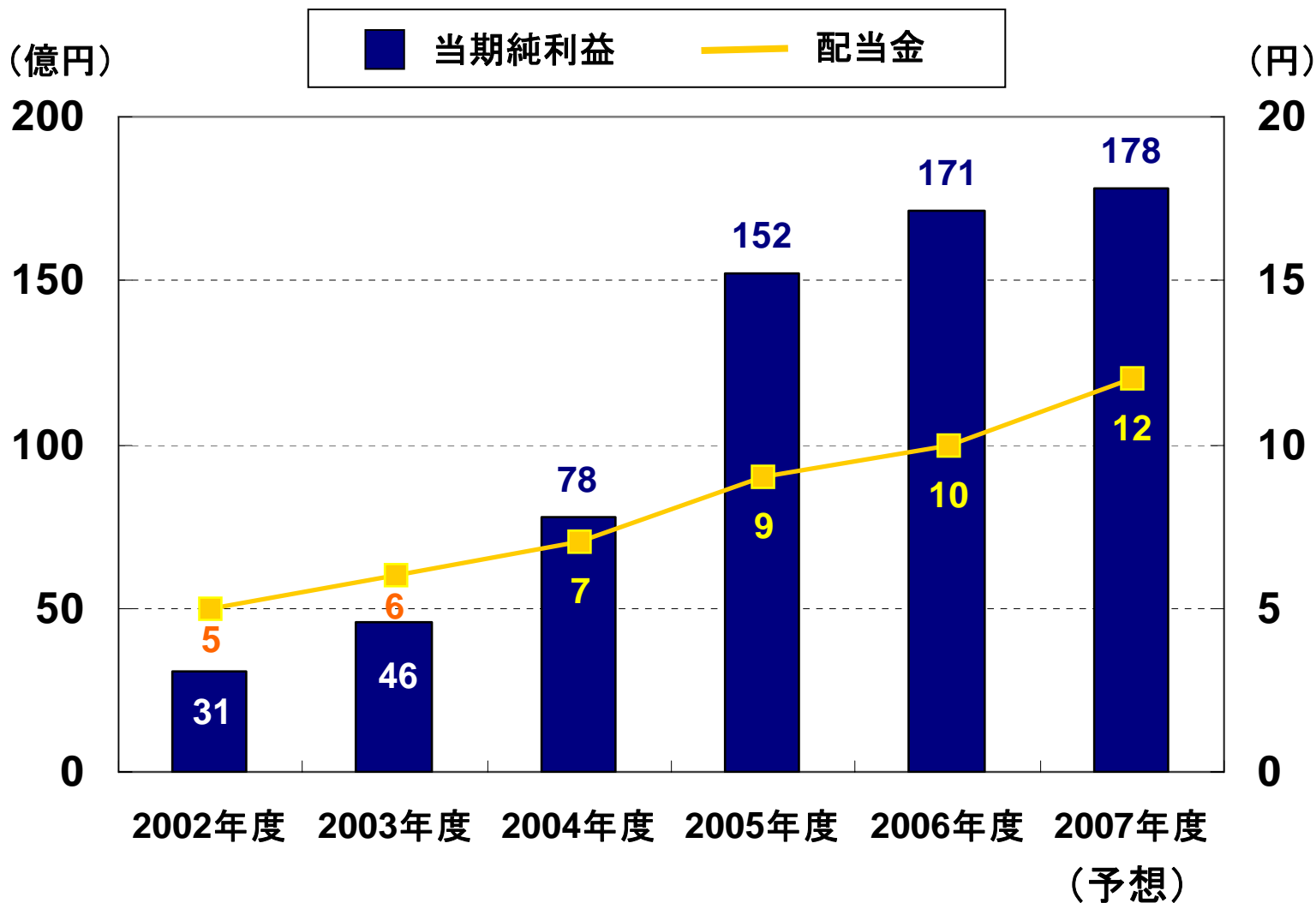
● 4年連続の増配

配当予想：年間10円（中間期：4円、期末：6円）

※前期実績：年間9円

中間期：3円、期末：6円（普通配当5円＋記念配当1円）

当期純利益と配当金推移



PZ-3のポイント

コンセプト

PZ-3

2005年度 ~ 2007年度

飛躍の実現

企業価値向上

- ・積極的投資
- ・生産革新
- ・CSR重視
- ・研究開発強化

基本方針

- ◆『企業の社会的責任（CSR）』を再認識し、社会から信頼され、社員も誇りに思える会社づくりを「スピード」「対話」「社会貢献」をもって追求する。
- ◆経営戦略と研究戦略を一致させ、ひとのまねをしない、ひとがまねをできない世界一の独創的技術で新事業を創造し、継続的に発展・拡大させる。

PZ-3 連結業績目標の達成状況

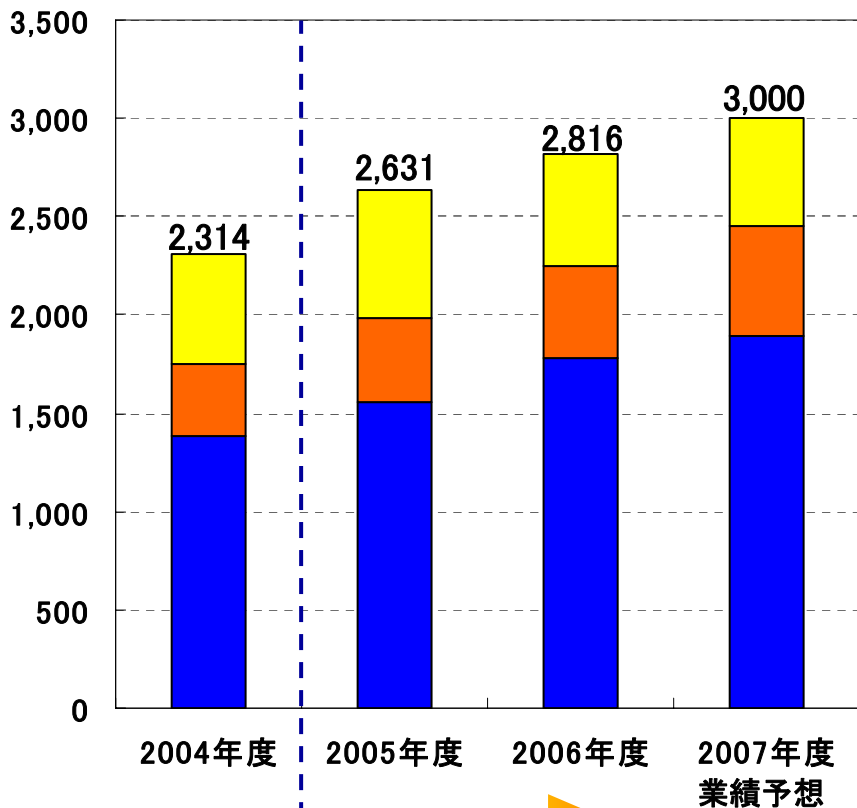
	2004年度 実績	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 予想	2007年度 PZ-3 計画
売上高	2,314億円	2,631億円	2,816億円	3,000億円	2,700億円
営業利益	193億円	268億円	302億円	310億円	330億円
高機能材料事業 営業利益構成比	45%	38%	32%	42%	55%
ROE	10.2%	17.6%	16.4%	15.1%	16%

セグメント別連結業績推移

連結売上高推移

■ エラストマー素材 ■ 高機能材料 ■ その他

(営業利益:億円)



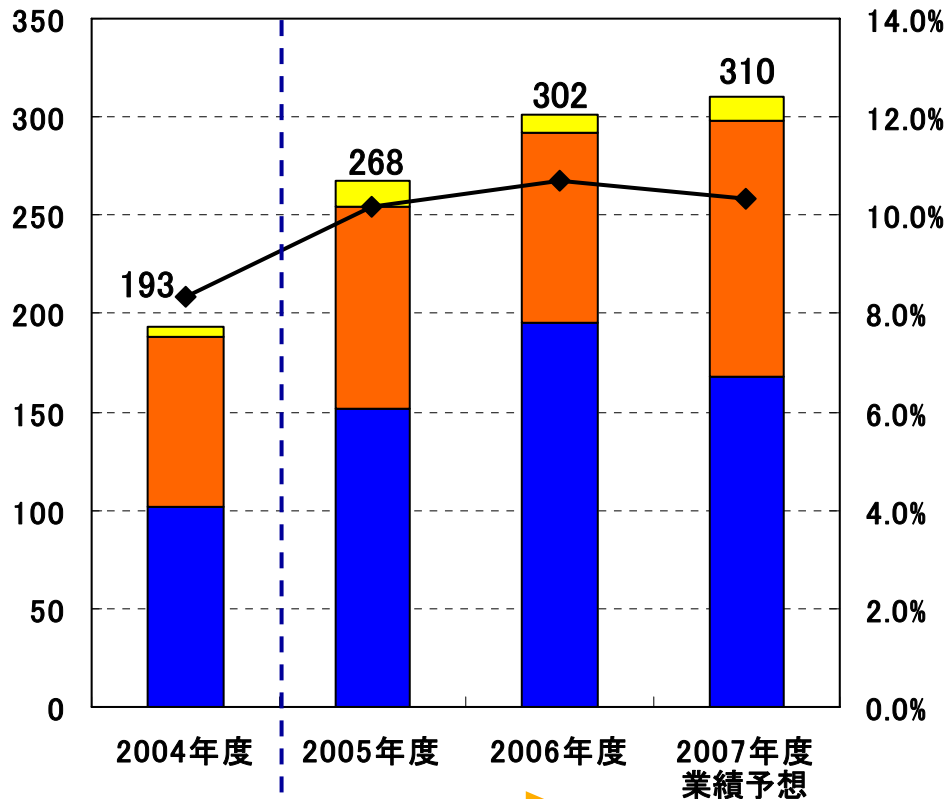
PZ-3 スタート

連結営業利益推移

■ エラストマー素材 ■ 高機能材料 ■ その他
◆ 営業利益率

(営業利益:億円)

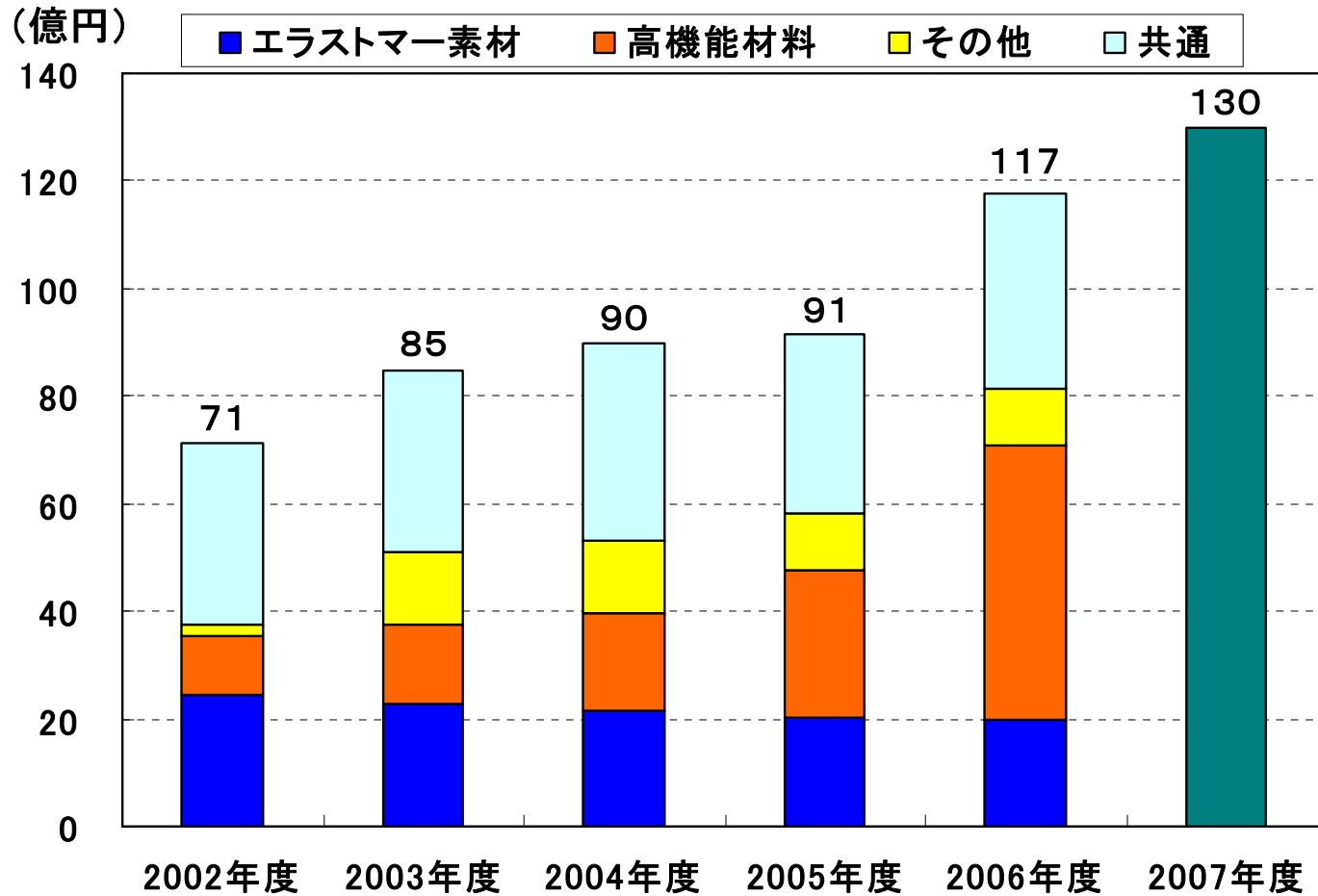
(営業利益率)



PZ-3 スタート

研究開発費推移

研究開発

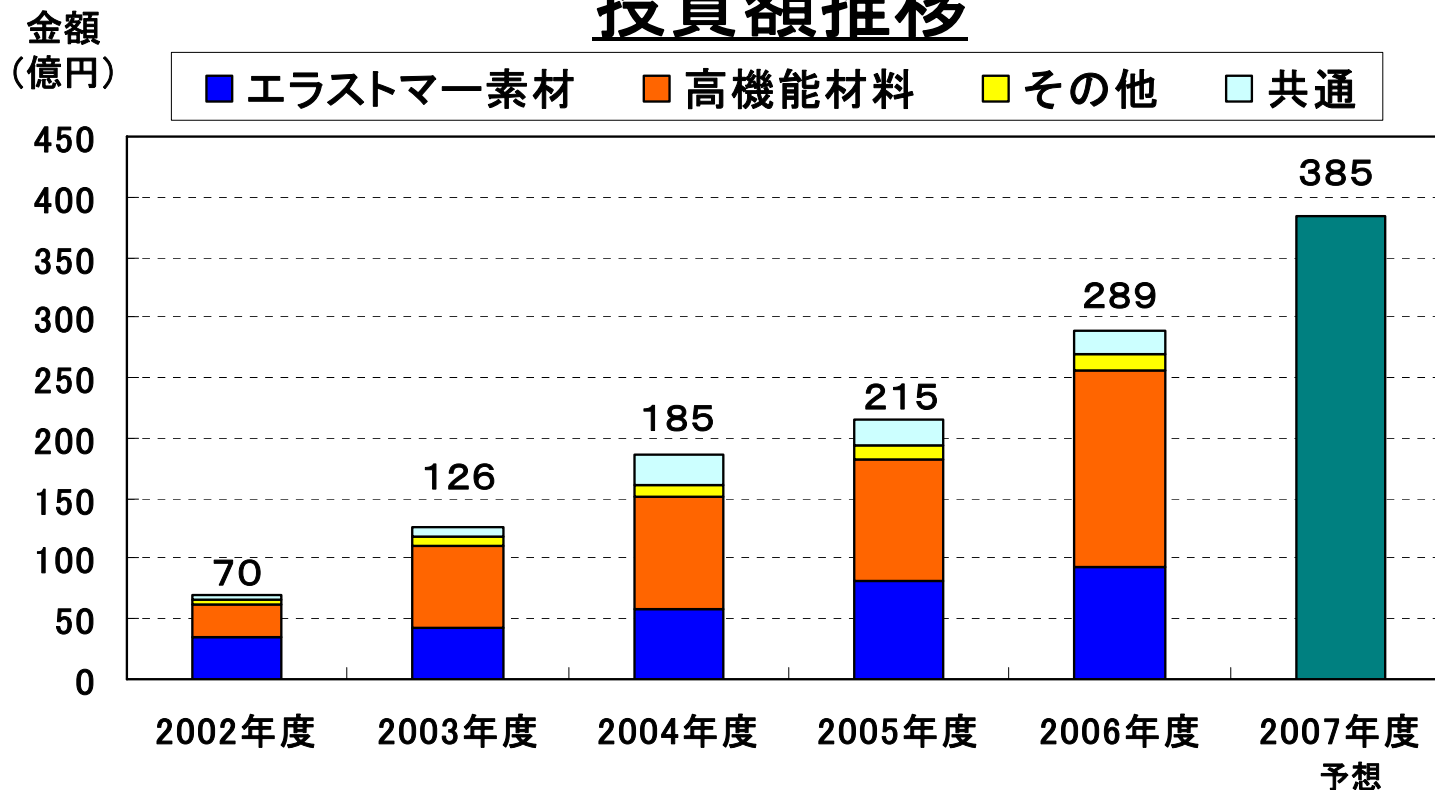


更なるスピードアップを図る

投資推移

2010年を見据えた新事業拡大への戦略的投資

投資額推移



PZ-3 計画: 3カ年合計 650億円

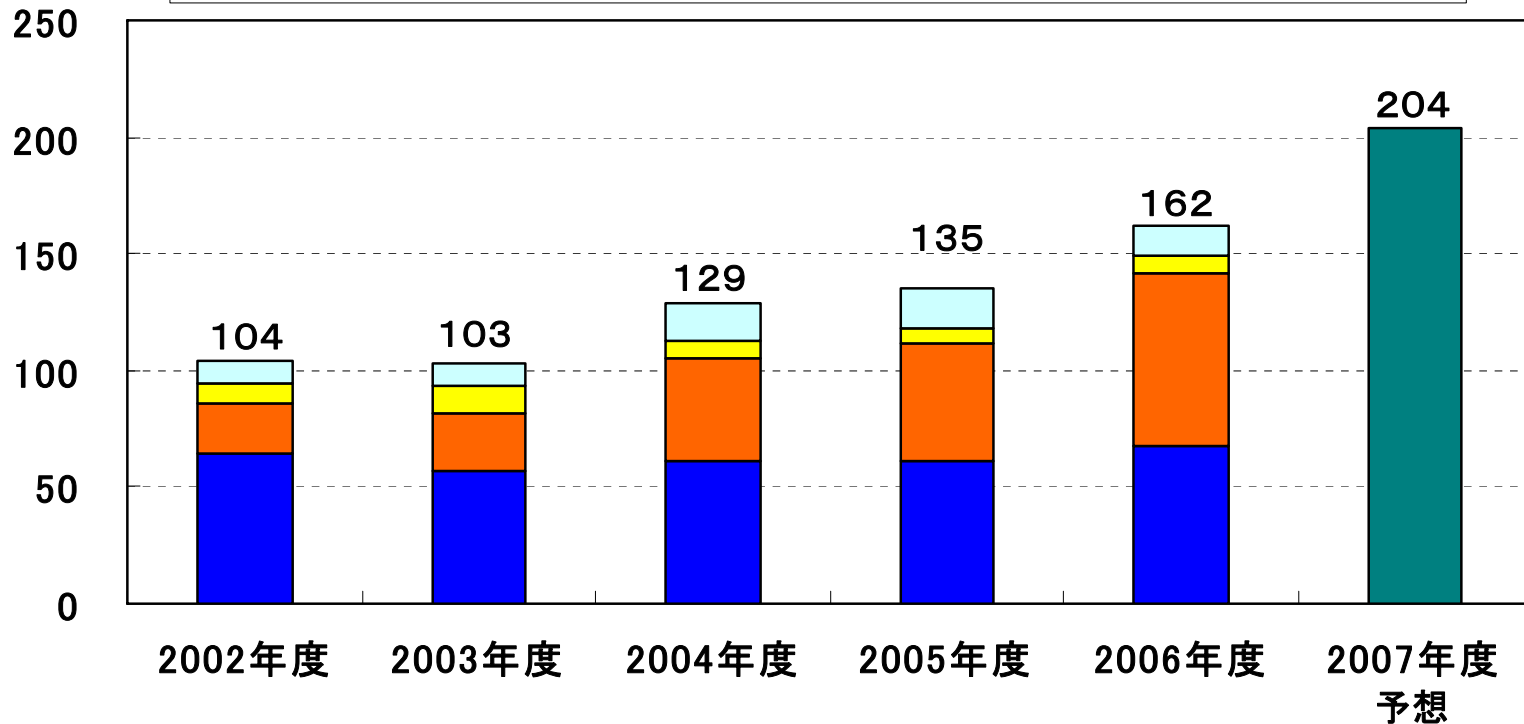
実績見込: 3カ年合計 888億円

減価償却費推移

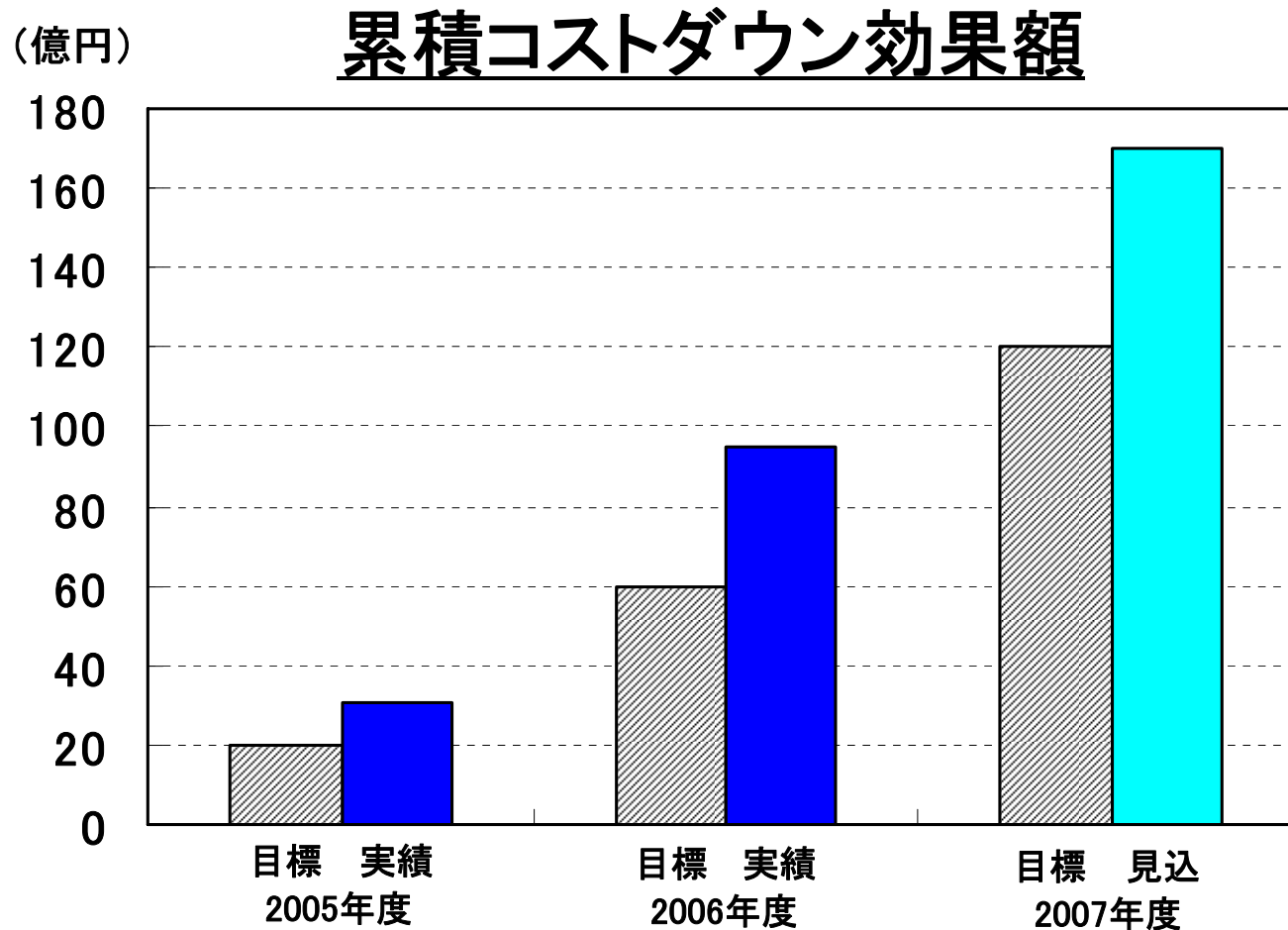
減価償却費推移

金額
(億円)

■ エラストマー素材 ■ 高機能材料 ■ その他 ■ 共通



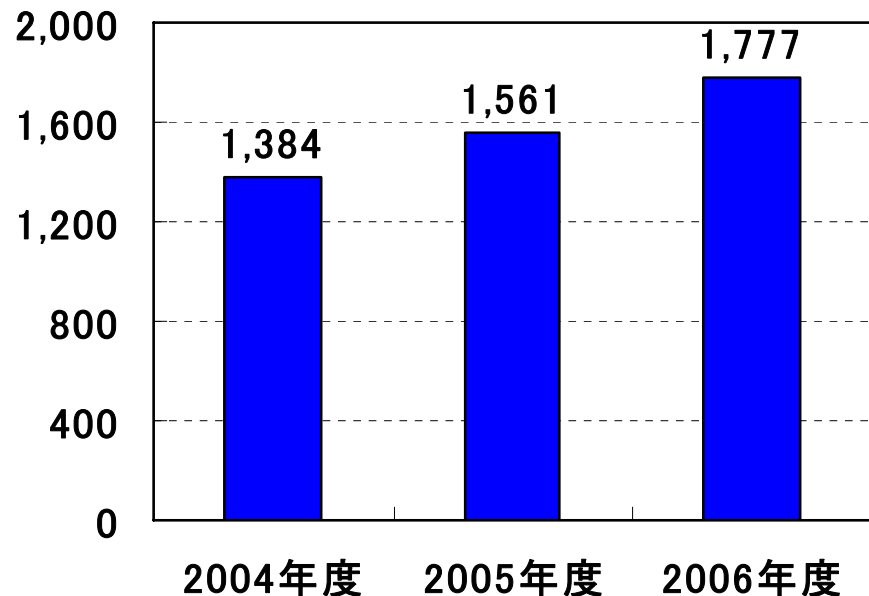
◆ ZΣ活動(コストダウン活動)推移



エラストマー素材事業 セグメント

連結売上高推移

(営業利益:億円)

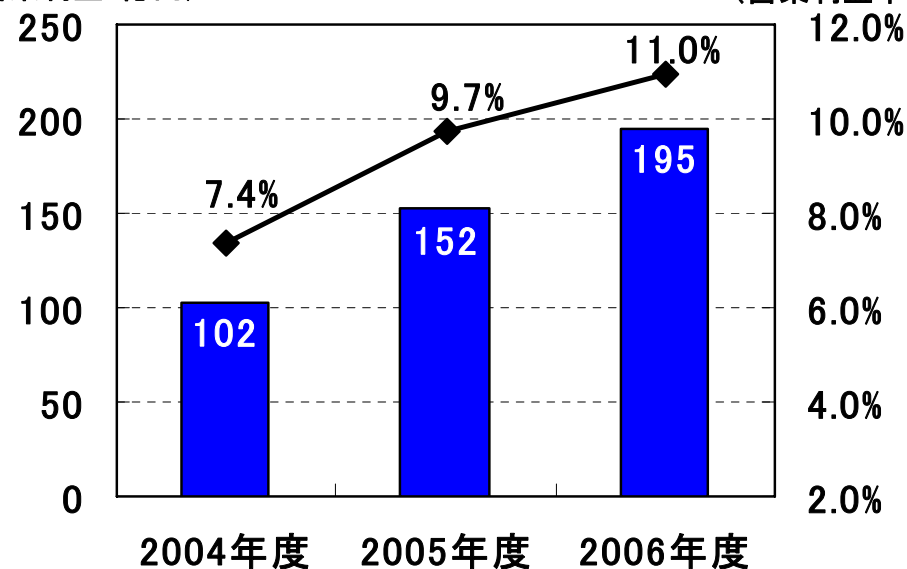


連結営業利益推移

■ 営業利益 ◆ 営業利益率

(営業利益:億円)

(営業利益率)



【2006年度総括】

- ・原油、ナフサ等の原材料価格が高水準に推移
- ・自動車、タイヤ等主要用途の需要が好調に推移
- ・海外市場における採算重視の販売政策を継続
- ・ZΣ活動(コストダウン活動)を推進

事業環境の変化

エラストマー素材

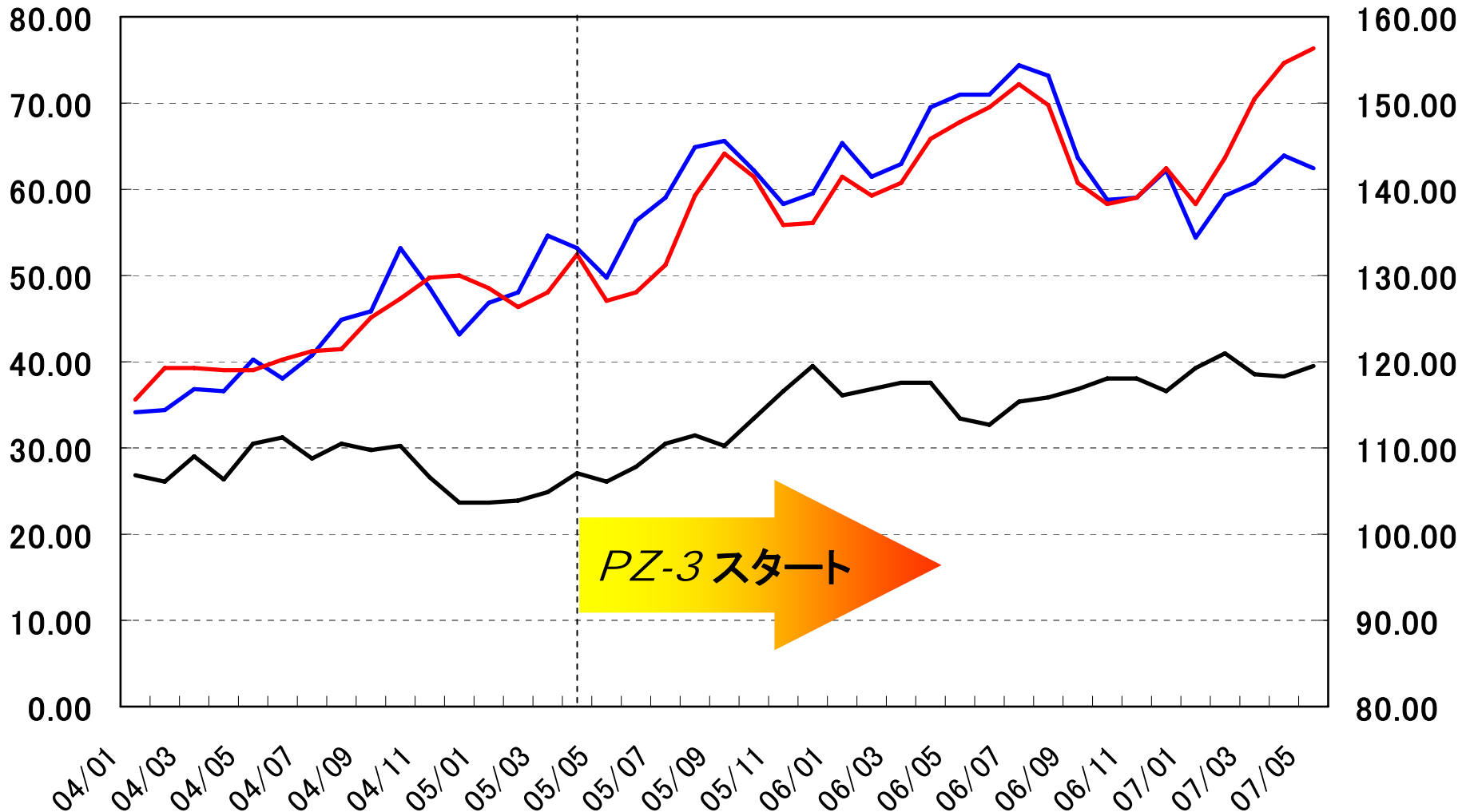
原油、ナフサ
(\$/bbl)

— 通関為替

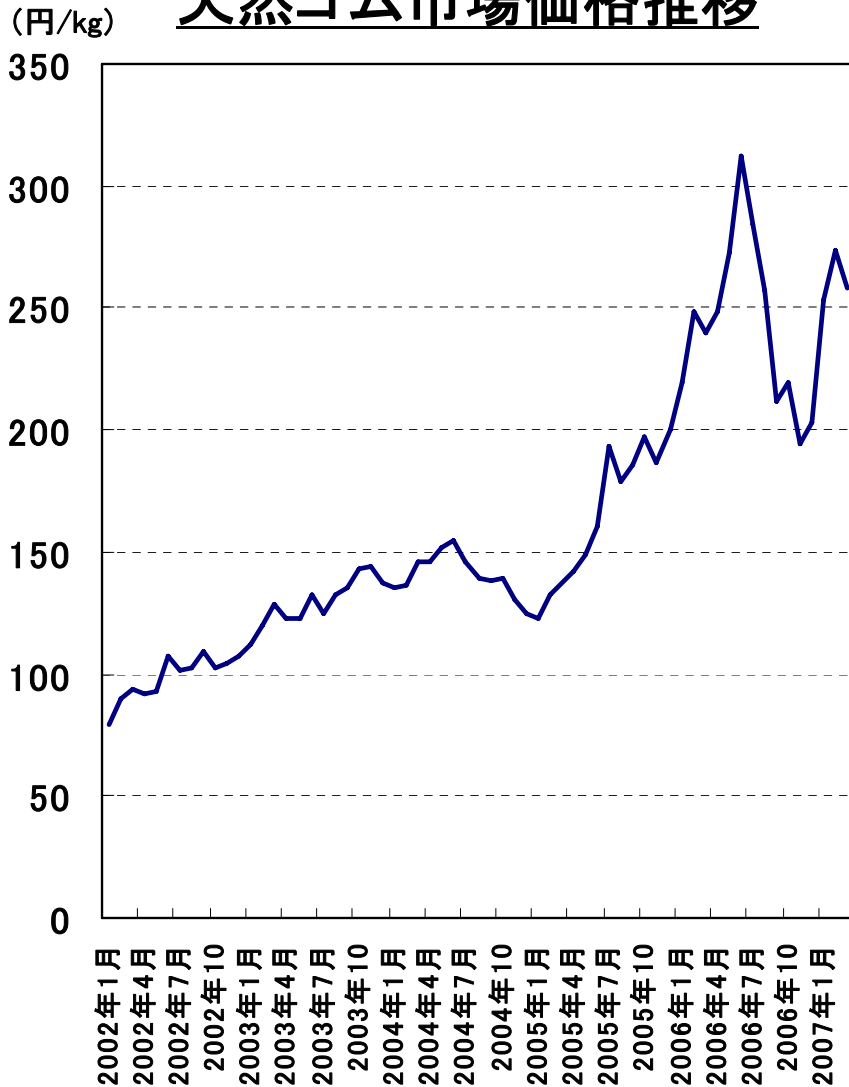
— 原油 (WTI)

— ナフサ (MOPJ)

為替 (¥/\$)

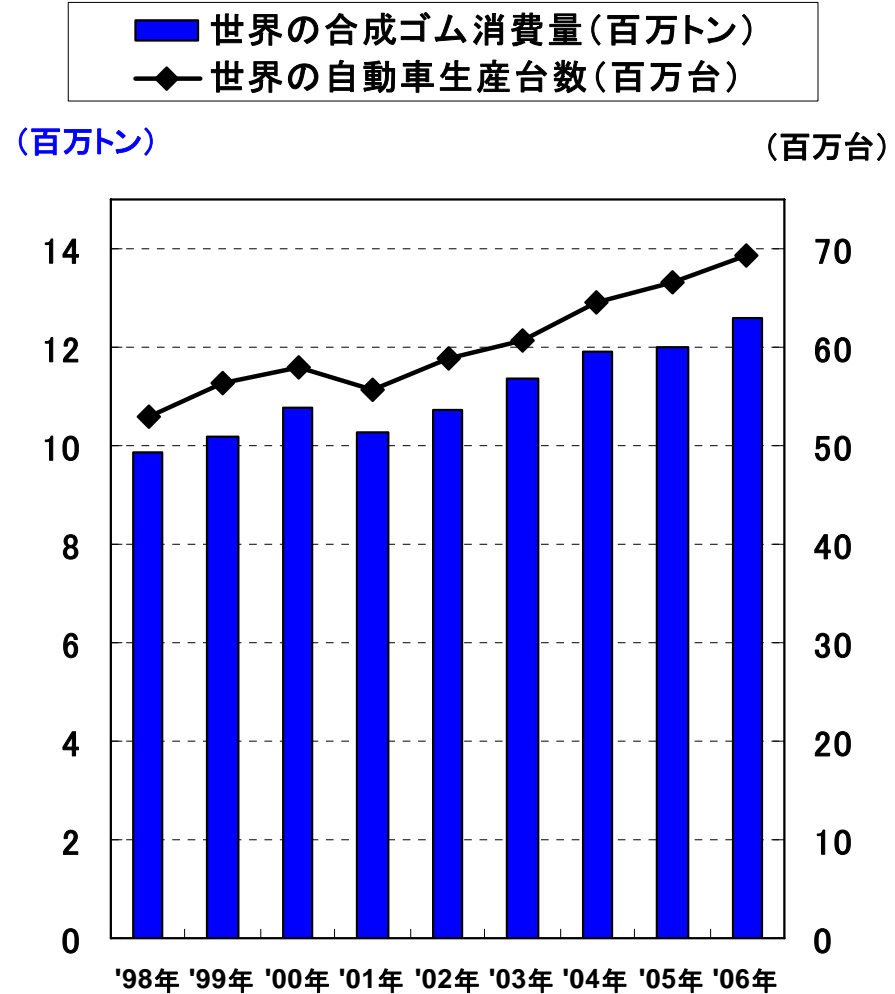


天然ゴム市場価格推移



東京工業品取引所の相場価格から当社算出

世界の合成ゴム消費と自動車生産

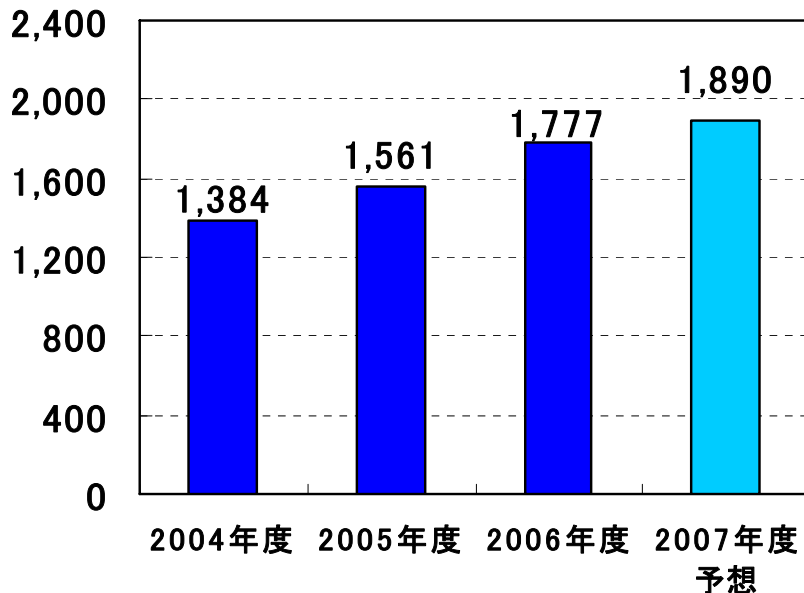


合成ゴム消費量: International Rubber Study Group より

自動車生産台数: Organisation Internationale des Constructeurs d'Automobiles (OICA)より

連結売上高推移

(営業利益:億円)

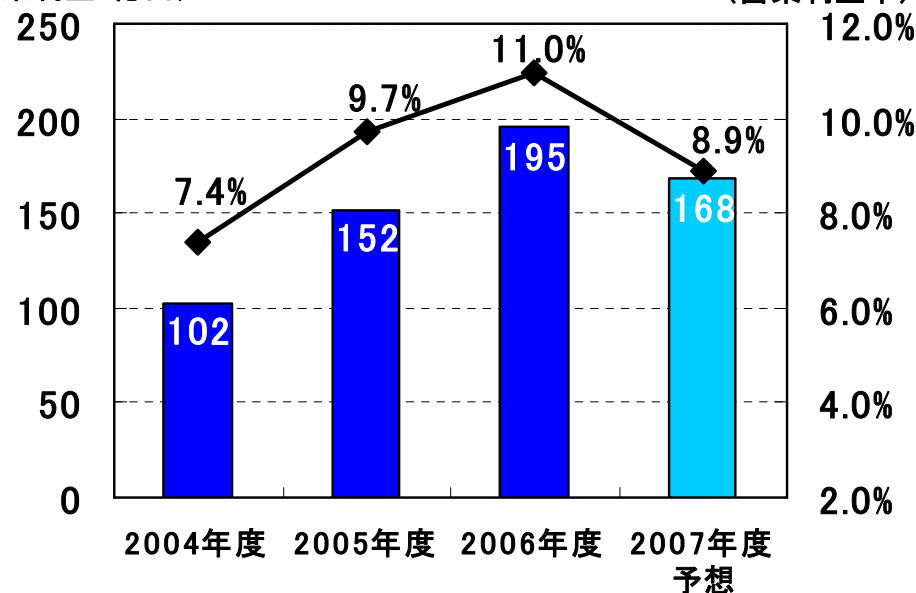


連結営業利益推移

■ 営業利益 ◆ 営業利益率

(営業利益:億円)

(営業利益率)



PZ-3の基本戦略

- ・世界一の品質
- ・世界一のコスト競争力
- ・グローバル供給体制の最適化

➡ 安定的な利益の確保

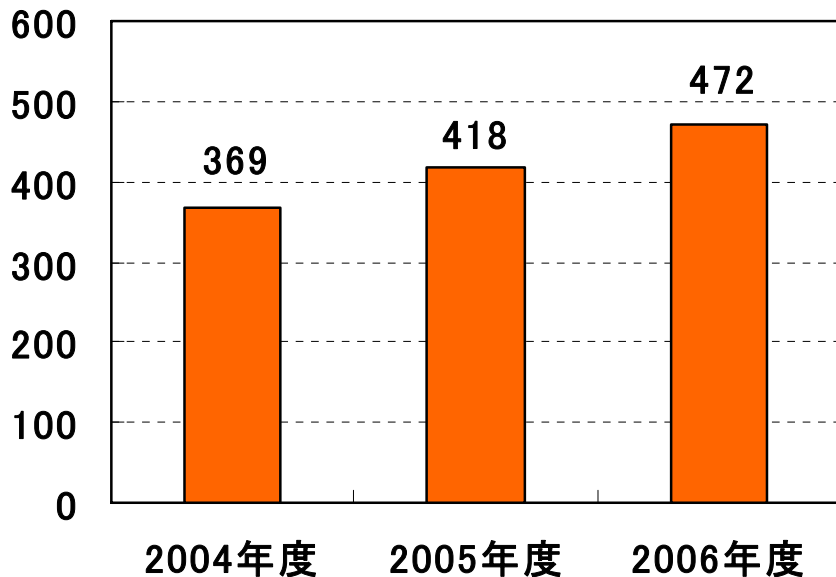
2007年度のポイント

- ・更なる原材料価格高騰への対応
- ・ZΣ活動(コストダウン活動)の拡大
- ・グローバル生産体制の構築

高機能材料事業 セグメント

連結売上高推移

(営業利益:億円)

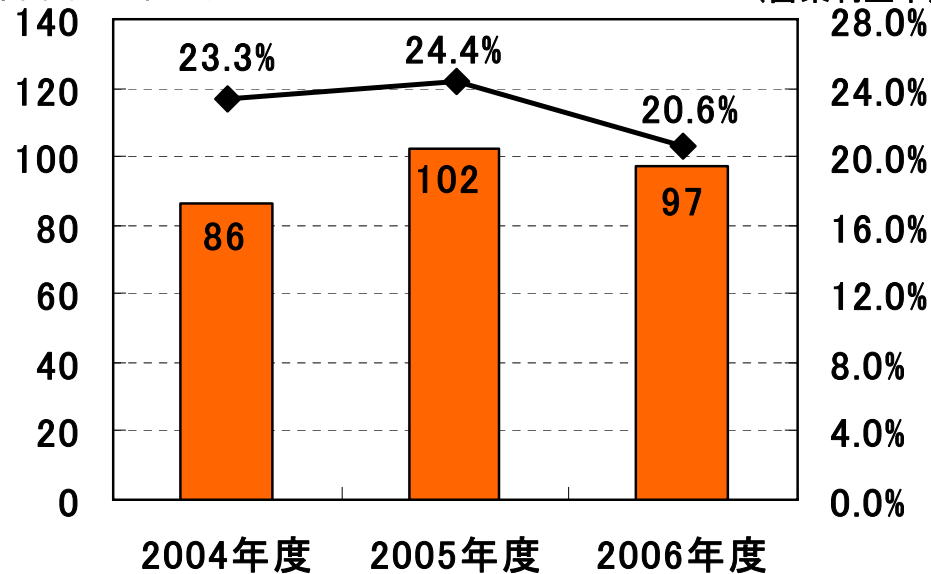


連結営業利益推移

■ 営業利益 ◆ 営業利益率

(営業利益:億円)

(営業利益率)



【2006年度総括】

- ・液晶パネル用光学フィルム(ゼオノアフィルム)は、売上高を伸ばしたものの販売価格の低下と研究開発費等の増加によって営業利益は減益。
- ・エッチング用ガス(ゼオローラ)およびレジストは、前年比で減収減益。

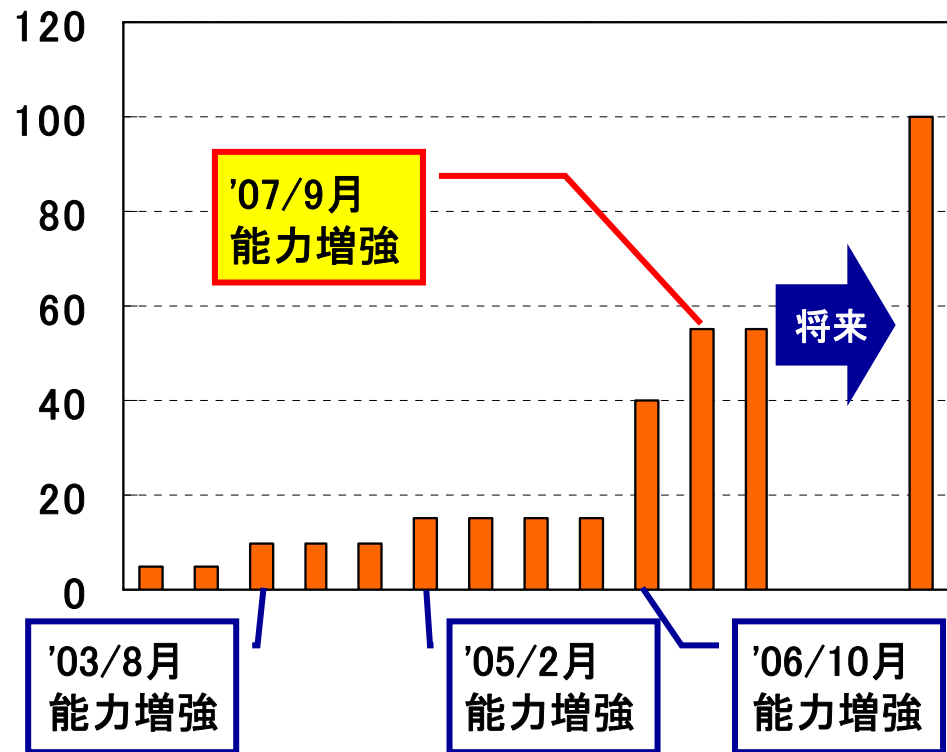
ゼオノアフィルム[®]新工場建設 高機能材料



所在: 富山県氷見市上田子
竣工: 2007年9月予定
投資額: 約100億円(第一期)

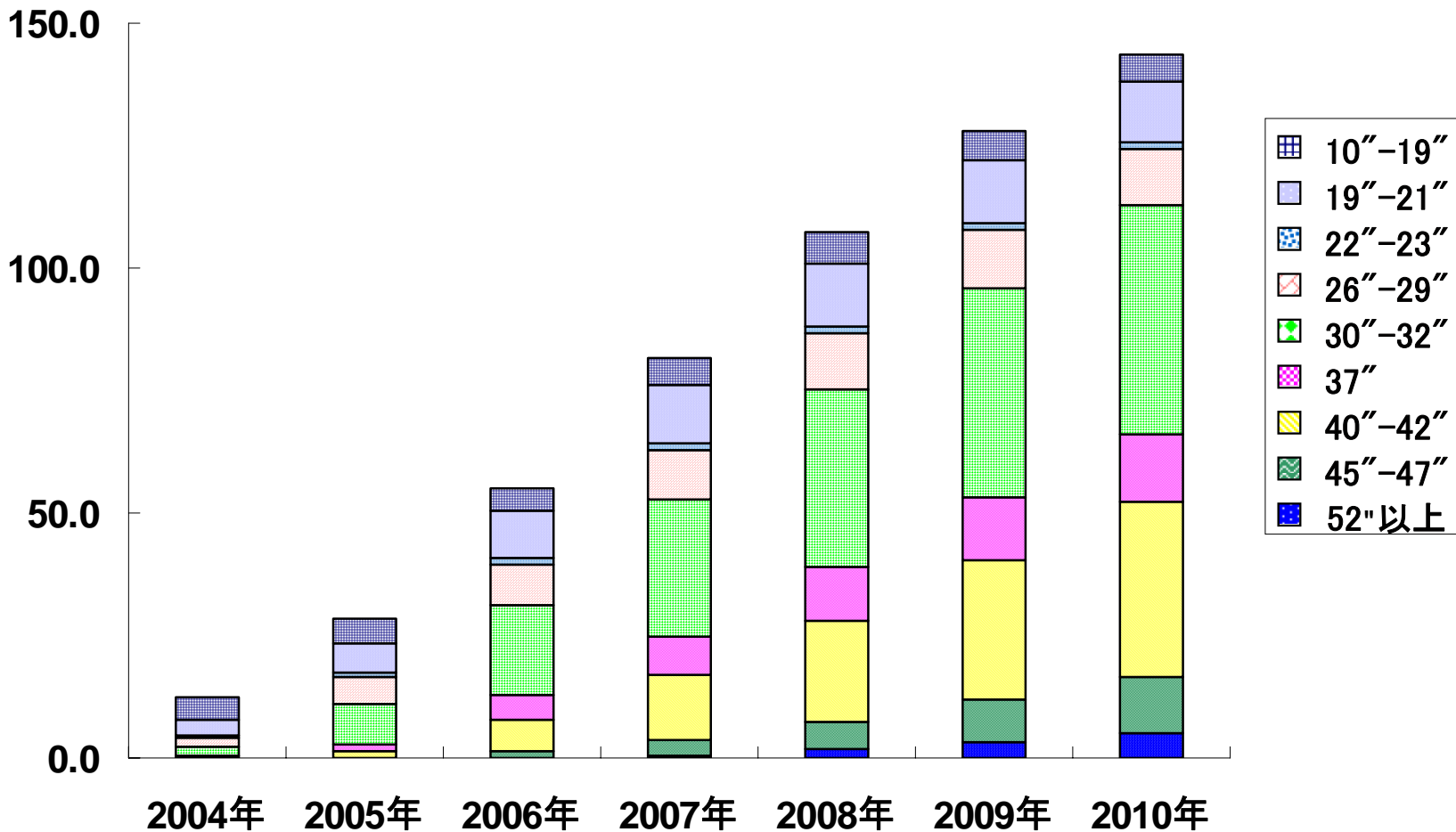
ゼオノアフィルム生産能力推移

(百万㎡/年)



LCD-TVサイズ別需要予測(台数)

需要予測
(百万台)

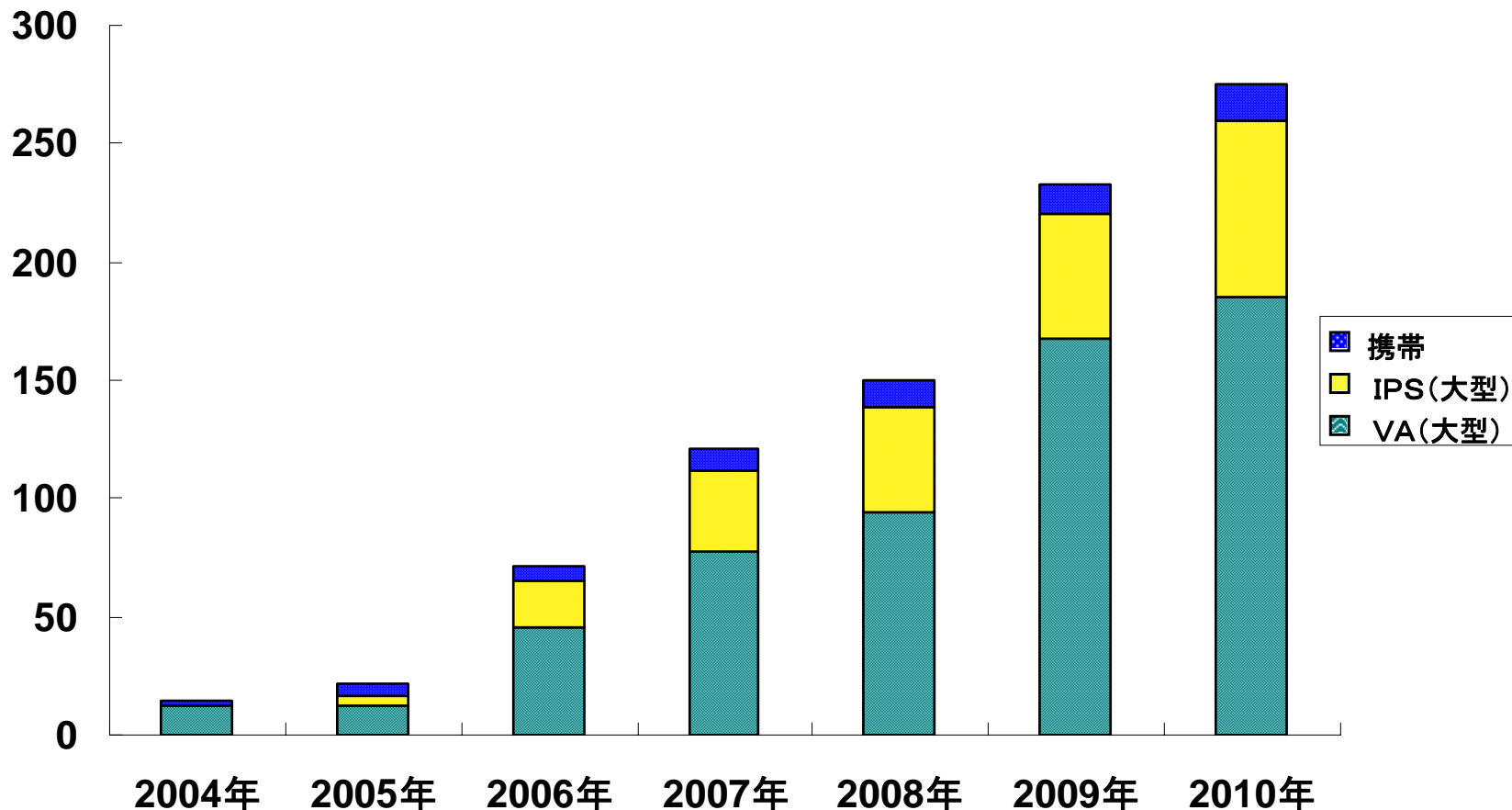


Display Search データを元に当社予測

位相差フィルム需要予測

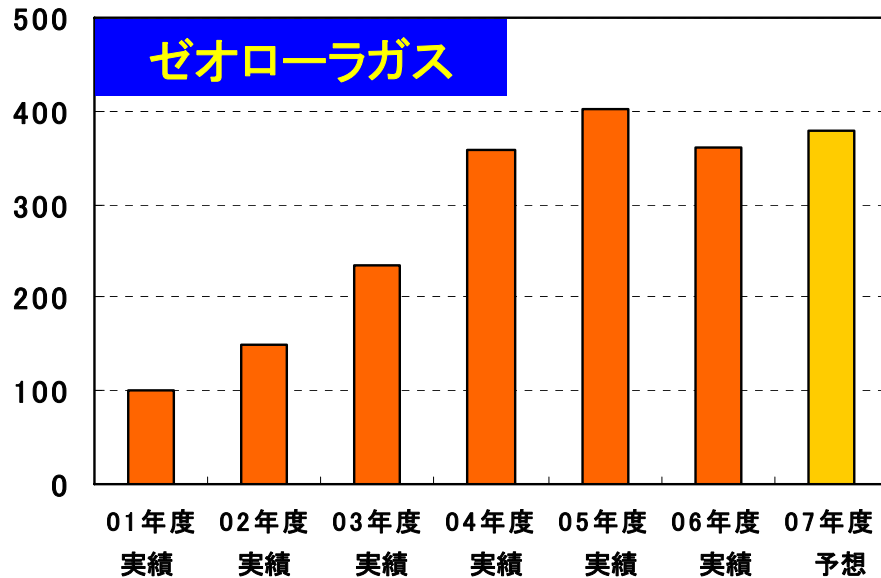
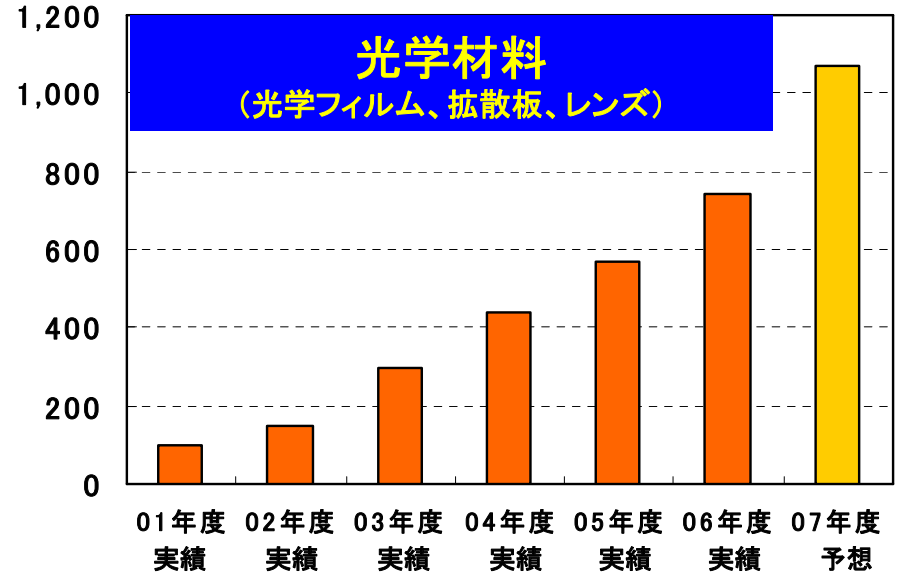
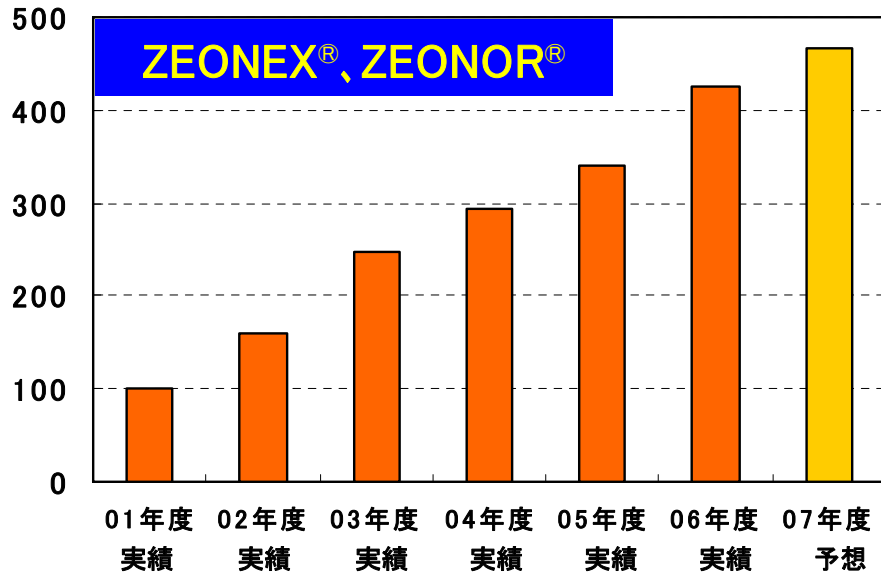
高機能材料

需要予測
(百万㎡/年)



当社予測

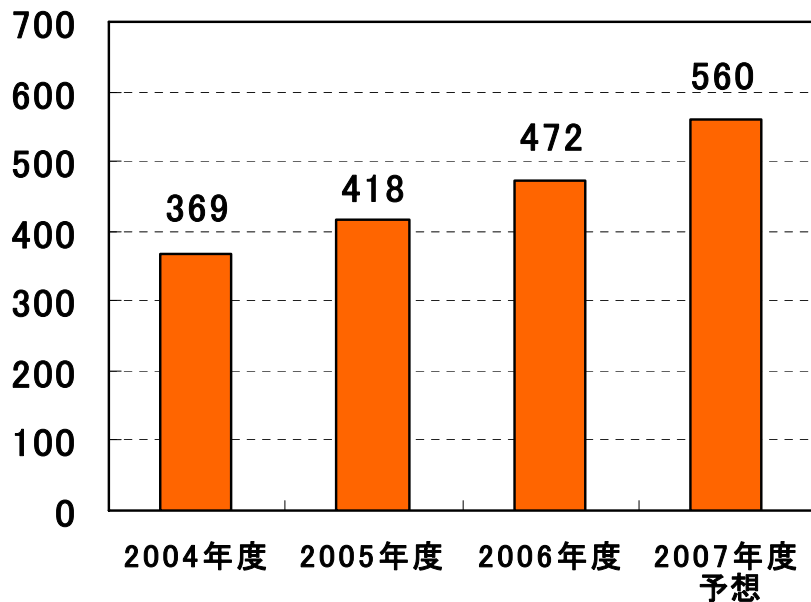
戦略製品の売上高推移



※いずれも2001年度を100とした場合

連結売上高推移

(営業利益:億円)

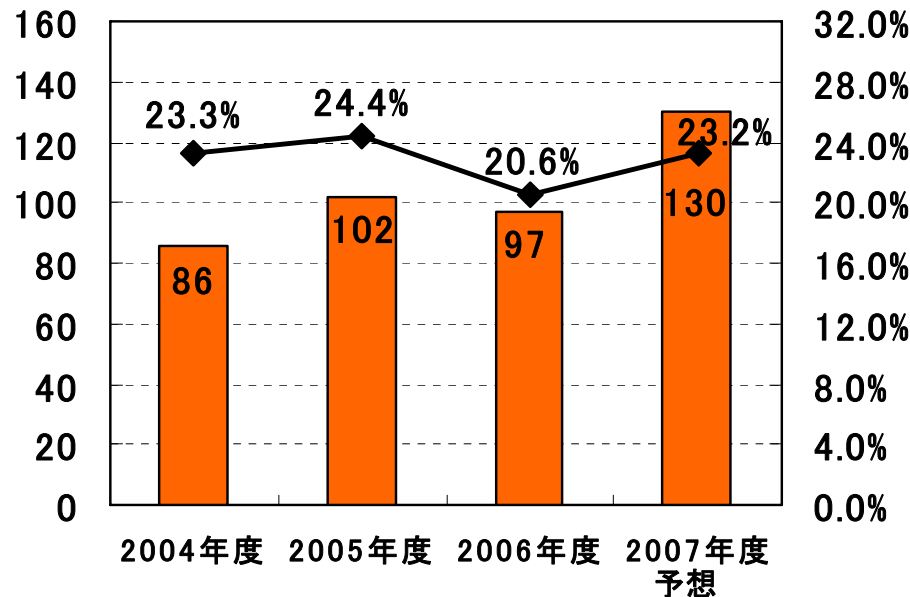


連結営業利益推移

■ 営業利益 ◆ 営業利益率

(営業利益:億円)

(営業利益率)



PZ-3の基本戦略

- ・テクノロジープラットフォーム強化
- ・精密加工技術の強化
- ・ユーザー密着の市場展開

➡ 飛躍的な事業拡大

2007年度のポイント

- ・ゼオノアフィルム新工場の立ち上げ
- ・価格競争に陥らない高機能新製品の上市

その他の状況

◆ 研究開発

● 研究開発戦略

1. 経営戦略と研究開発戦略の一体化
2. 研究開発速度のスピードアップと成功確率の向上
3. テクノロジープラットフォームの戦略的強化

『狙いの5分野』

記録

コンピュータ

表示

エネルギー

通信

シクロオレフィンポリマー(COP)絶縁フィルムの開発で、 二つの賞を受賞

- ◆ IEEE(電気電子学会) CPMT Young Award(2006年5月)
- ◆ エレクトロニクス実装学会 論文賞(2007年5月)

発表論文:『表面平滑低損失樹脂を用いた高速信号配線』

受賞者 : 東北大学 森本明大、大見忠弘
日本ゼオン 研究員4名

【論文の概要】

COP絶縁フィルムの開発で、絶縁フィルムの表面粗化を行わずに銅配線を形成することが可能であり、かつ、低誘電率・低誘電正接という特徴を持つCOP絶縁材料を用いることにより、LSI用パッケージ基板において、銅配線の高精度化、信号の高速化を達成できることを実験および計算により実証した。



IEEE CPMT Young Award

研究拠点の整備・拡充

研究開発

精密光学研究所
(高岡)



精密光学研究所
機械加工棟(高岡)



化学品研究棟
(米沢)



総合開発センター
10号館(川崎)



総合開発センター
(川崎)



◆ 生産体制

● 生産戦略

1. 生産革新による安定・安全生産の徹底追求
2. グループ力を結集したコストダウンの実践

水島工場統合生産センター建設

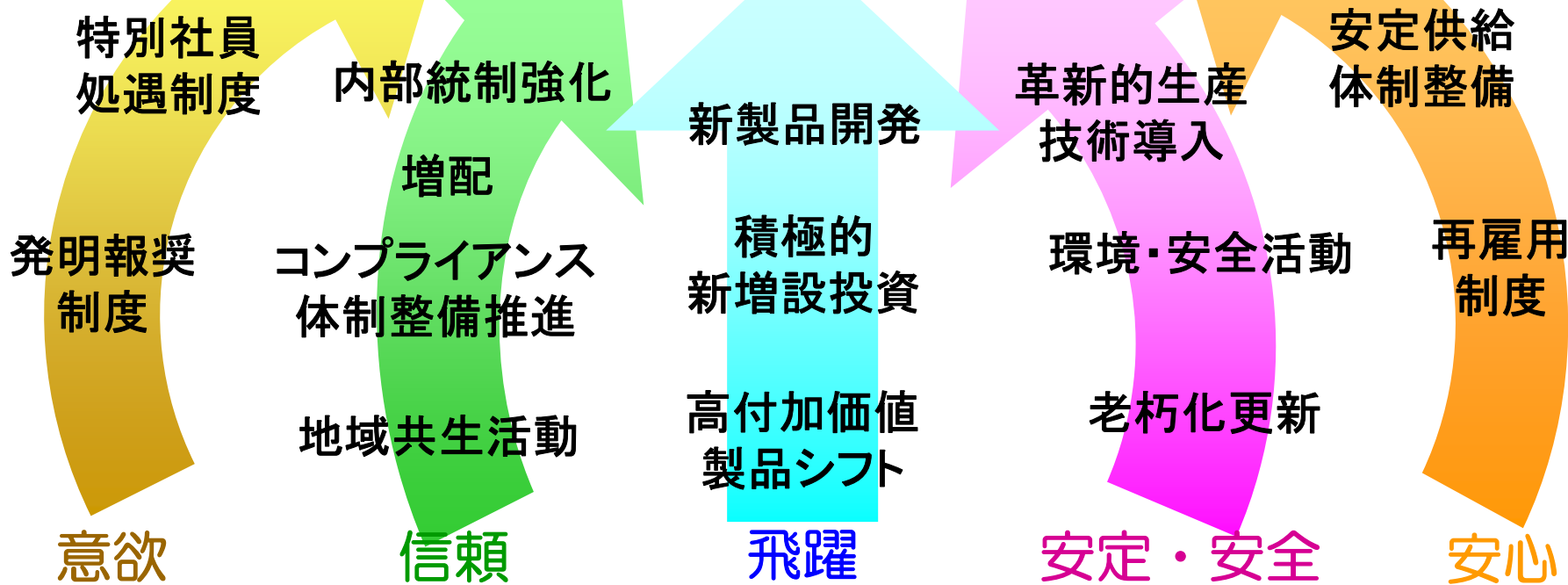




企業価値向上のために

企業価値向上

CSR

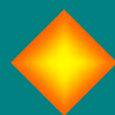


PZ-3

スピード

対話

社会貢献



スピード

対話

社会貢献

◆ 注意事項

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

日本ゼオン株式会社 広報室
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル
Tel:03-3216-2747, Fax:03-3216-0501